

紅葉のスペースアルファ神戸

京都大学医療統計 佐藤俊哉

2010年11月19日 セミナー初日はすかーんと快晴

今日から神戸のスペースアルファで、計量生物セミナー。これまではいろいろと大学の儀用事が重なってしまい、神戸でのセミナーには今回が初参加。スペースアルファは少々場所が不便で、事前に検索したところ京都発 10 時 45 分の新快速に乗らないと間に合わないのので、10 時前に家をでる。会場近辺には食事ができるところも少ないとのことなので弁当を買っていくことに。京都駅の JR 伊勢丹により、このところお気に入りの侘屋古暦堂 ふわふわたまごの鶏かつ弁当を買う。ついでに懇親会用にこれもお気に入りのチリワイン、モンテスカベルネソービニョンとドライいちじく、ミックスナッツを購入し新快速に。

新快速は中途半端に混んでいて大阪まで立って行く羽目に。大阪で座れたものの次の尼崎で乗り換えないといけない。福知山線のなんとか路快速に乗り換え、まだ紅葉にはもう少しだが山あいの中をごとごと走り、30 分ほどで突然開けて都会が現れると三田に到着。ここが牛で有名な三田か、と感慨も新たである。が、ここでまたまた乗り換え、神戸鉄道に乗り 10 分ほどで田尾寺(たおじ)着。途中、道場(どうじょう)、二郎、なんていう駅があったが、いったいなにがあるのだろうか？

田尾寺で降りるとおなじ電車にアストラゼネカの深瀬さん、塩野義の長谷川さんも乗っていた。深瀬さんと歩いて会場のスペースアルファに向かう。ほどなく到着し、フロントでベーリンガーの鍵村さんとぼったり会う。鍵村さんはこの近所に住んでいるので近くていいね、という「今日の準備が間に合わず、資料の印刷に一旦会社に行ったのでたいへんでした」とのこと。さぞ力作な資料のことであろう。

さっそく会場でお弁当を使う。この弁当は鶏かつの下にカレー風味のキャベツと鶏そぼろがたっぷり乗ったご飯があり、ほんとうはビールで鶏かつを食べ、その後鶏そぼろご飯を食べるのが王道なのだが、これからセミナーなのでそうもいかない。唯一の難点は、さらさらのたれ(ポン酢?)がついているのだが、とんかつソースで食べたい、というときもあり、できれば二種のソースをつけてもらいものである(古暦堂さん、よろしく)。

そうこうしているうちに参加者が集まり、50 人を超える盛況である。医療統計からは小谷さん、高田くんが参加している。初日のテーマは国際共同試験。同志社の大森さん、久留米の服部さんの司会でスタート。大森さんは明日の土曜も仕事、日曜は学生を引率して清水寺に遠足とかで、本日のみでお帰りとなるとのこと。ご苦労様、である。トップは今回の企画(というよりいつも)の大阪大学の上坂さんがセミナーの趣旨の説明。30 分の予定が止まらず、最初の演者ですでに 15 分オーバーである。途中上坂さんが、国際共同試験と多地域試験は違うと言い出し、みんな混乱して頭の上に「？」が点灯していた。

機構の安藤さん、第一三共の小山さん、リリーの小川さんが国際共同試験の話、最後にベーリンガーの鍵村さんが国際共同試験での安全性情報の比較、とちよっと毛色の変わっ

た話。総合討論では全体の結果と日本の結果の類似性だか一貫性だかについて議論があった。興和ので…、もとい菅波さんが、小山さんの講演にあった、「全体で 1 万人、日本から 700 人」という試験を引き合いに出して、一貫性が事前情報から十分担保されているのなら、700 人なんて中途半端な数で国際共同試験に参加するよりも、参加せずにブリッジングするという戦略はないのか、と質問。(最初はなにをいっているのかみんなよくわからなかったが、確認したところどうもそういうことのようにだった。)ま、もっともだけど、過去のブリッジングとは状況が違うのでまずだめでしょう。

安藤さんが医療統計に研究生で来ていた時にも議論したのだが、やはりブリッジングスタディのときの経験を使わないのはもったいないと思うのだが、どうだろうか。最後はつじつまが合って、ほぼ時間通りの 6 時半過ぎに初日は終了。

一旦部屋にチェックインして 6 時 45 分から懇親会なのですぐに 2 階のゲストダイニングに降りる。と、主催の上坂さんが荷物を抱えて「ちょっと部屋においてきますので、先にはじめてください」、といわれても上坂さん抜きで始めるわけにはいかないので、リリーの竹綱さんがやきもきしていたが、まだ料理もそろっていないので上坂さんがもどるのを待ちましょう。ほどなく上坂さんが戻り、最初に乾杯のあいさつをしろと言われる。しまった、と思ったが、「上坂さん、服部さん、大森さんはじめ企画理事の尽力で立派なセミナーが開催できました」なんて法務大臣ではないがあたりさわりのない会長あいさつをして乾杯。



立食は落ち着かないのと腰が痛くなるので好きではないのだが、この料理はなかなかおいしかった。ローストビーフ、ハム・チーズ・かものスモーク、サンドイッチ、シーフードサラダ、てんぷらなどをつまむ。ちらしずしやそばなども出ていた模様。

ゲストダイニングでの懇親会は 8 時 45 分まで、あとは各階のラウンジでどうぞというので 7 階のラウンジにみなで三々五々集まり続きを。部屋からモンテスのワインとつまみを取ってきたものの、誰もなんにも準備なしで懇親会会場から持ってきたものと思われる焼酎とサントリーリザーブがあるのみ。なんでも若い衆に買い出しに行かせたと、で…いや菅波さんがいるので、先にワインではじめています。菅波さんと小野薬品の富金原さんは大学の同期で、みなさんはとても信じられないかもしれないが、ふたりとも空手部だったそう。



なぜかしばらくでぶ話で盛り上がる。その後、なぜか納豆の話となり、菅波さんは納豆が苦手だということで、一同なぜ納豆が食べられないのかと、かさにかかって攻める。だって腐ってるでしょう、とのよくある陳腐な理由だった。

昨年の連合大会前に計算機統計学会から計量生物学会にセミナーの後援依頼があった。小山さんにアダプティブデザインの話をしてもらうので、計量生物学会の会員の方も関心があるでしょうから、とのこと。一部の企画理事から『なぜ学会主催のセミナーなのに参加費が高いのか』と疑問の声が上がったが、後援することで計量生物の会員も会員料金となるのでいいでしょうと後援することにした。するとまた今年の連合大会に合わせて、小山さんにアダプティブデザインのセミナーをしてもらうので後援してほしいと依頼があった。また？、とは思ったものの昨年も後援したし、と今年も後援した。ところが小山さんは計算機統計学会の会員でもないのに続けて講師を頼まれたとのこと。参加費の設定も含め、今後は後援依頼にも注意しないとイケないなあ。

だったら計量生物学会も小山さんにセミナーを頼めばいいではないか、ということになるのだが、なにせうちの企画理事のことだから参加費はほぼ実費となってしまう(実際このセミナーでも講師をお願いした)。そんなことよりも、計量生物学会では企業の医療統計家に入会してもらうためには、どのようなメリットがあればいいか、を上坂さんと菅波さんに検討してもらっていて、一番手っ取り早いのは認定制度であることは間違いない。年会、セミナー、連合大会、講演会、チュートリアルに参加で何クレジットかがもらえ、毎年更新するというシステムである。ただ、それとは別にぬるーい発表会をすとか(どんな発表をしても誰も怒らない、建設的なコメントのみとする)、セミナーなどの参加費を年会費より高くすとか、いくつか提案があったので、ぜひそれらをまとめて理事会に提出していただきたいのでよろしく。

ラウンジが12時消灯ということなので解散。部屋に戻ってせっかくパソコンを持って行って、せっかく部屋にLANがきているのでメールチェックする。LANのコンセントがテーブルから離れたところにあり、短いケーブルしか持っていなかったのでちょっと頭にきた。が、気を落ち着けて、シャワーを浴びて寝る。

11月20日(土) MBDDな1日

7時30分に起きる。45分を目覚ましをかけたのだが、目覚ましをかけると気になって気になって、たいがい鳴る前に起きてしまう。今朝も快晴で、セミナーにはもったいない日和。8時過ぎに1階のメインダイニングに。ブッフェではないのだが、大皿に盛ってあるきんぴらだのスクランブルエッグだのベーコンだのスパゲッティだのを好きなだけ取り、納豆や豆腐の小鉢を取り、ご飯に味噌汁を受け取る、サラダバーは取り放題。やっぱりブッフェかな?

菅波さん、富金原さん、竹綱さんがすでに食事をすませているが合流し、「でぶ、納豆食ったか?」。なんでも菅波さんは自由意思ででぶをやっているのがポジティブ・デブPDだと騒いでいた。このあともみんなから「菅波さん納豆ありましたよ」、「菅波さん納豆食べましたか」と声を掛けられていた。部屋に戻って、インターネットで帰りの電車の時刻を調べると田尾寺13時10分発に乗らないと接続が悪く、次に接続がいいのは13時40分となってしまうので食事をしたらすぐ帰らねば。

9時半からはチュートリアルMBDD(Model based Debu Development)のはじまり。最初はファイザー土綿さんの「はじめてのPK・PD」(いや、もちろんそんなタイトルではなかったのだが)、次いで竹綱さんがチュートリアルの概観、富金原さんが臨床試験モデルの作成と実例の紹介、休憩をはさんで帝人ファーマ小松さんが実際のPK・PDモデルの事例紹介、最後にベルシステム笠井さんがファーマコメトリスクの展望。

今回はじめてMBDDの話聞いたが、紹介された事例をみてぶっ飛んだ。こちらサンプルサイズ的设计ですらなにが正解かわからず、自慢じゃないが見積もりなんか当たった試しがなくいつもフラストレーションが溜まっているのに、MBDDであんなにうまくいくんじゃ、アダプティブデザインなんて無用の長物ではないか。MBDD 恐るべし、である。セミナーは予定通り12時半終了。

なぜか今日はお昼がついていて、昨日お昼つきで今日は9時開始12時解散でよかったのだが、せっかくなのでお昼を食べて帰ることに。お昼は、鶏から揚げ丼、茸ご飯と味噌煮込みうどん、魚の洋風の3種から選べて、高田くん、小谷さんはから揚げ丼、わたしは味噌煮込みうどん。そそくさと食べ、会場を後にする。と少し早く田尾寺駅につきMBDDご一行と駅で一緒になる。ご一行は神戸に出るとのことなので、セミナー参加のお礼を述べ、われわれは反対の三田行きに。安藤さんも三田行きに乗るので、神戸じゃないのと聞くと、なんとこれから阪大の中之島センターで講義だという。たいへんであるが、医療統計でも12月14日に講義を頼んでいるので大きなことは言えない。

車中医療統計きつての事情通高田くん、なぜ二郎は二郎なのかと聞くと即座に検索して「地名のようです」。それではなぜ道場は道場なのかと聞くと「地名のようです」。だからどういう由来で二郎や道場なんて地名となったのかを聞いておるのだ。三田から福知山線に乗り換え、安藤さんは大阪まで、高田、小谷、佐藤は尼崎で降りて新快速に乗り一路京都へ。小谷さんは高槻から島本経由で帰るという。高田くんとも京都で別れ、3時過ぎに帰宅。会場がちょっと遠いのが難点だが、充実したセミナーでした。

講演者のみなさん、企画担当理事のみなさん、そして参加いただいたみなさん、ありがとうございました。

(写真は参天製薬の後藤さんから提供していただきました。)